

プレス発表

東京電力(株)福島第一原子力発電所2号機における原子炉建屋内での水漏れの原因と対策に係る東京電力(株)からの報告及び検討結果について

平成15年9月12日
経 済 産 業 省
原子力安全・保安院

東京電力(株)は、定期検査中のため運転停止中の福島第一原子力発電所2号機（沸騰水型、定格出力78万4千キロワット）において、平成15年7月24日、原子炉建屋1階の管理区域内の残留熱除去系の計装ラック排水口（以下、「当該排水口」という。）から約100リットルの水漏れが発生した事象（7月25日発表済み）に関し、原因究明のための調査を実施してきたところ、本日、原子力安全・保安院（以下、「当院」という。）に対し、原因と対策に係る報告書を提出した。

当院は、提出された報告書について検討した結果、その原因と対策は妥当なものと判断する。

（原因と対策に係る東京電力(株)の報告書の要点）

1. 原因

水漏れが発生した当該排水口の下流側において、排水配管取替工事のために配管切断部が閉塞養生されていた。これと並行して行われていた残留熱除去系差圧検出器*の取替に伴う耐圧試験の準備作業中において、検出器の排水管に設置された通常は「閉」である一次弁及び二次弁が「開」状態となったため、排水管に水が流れ、配管切断部が閉塞養生されていたことから、排水が逆流し、上流にある当該排水口から漏水が発生したものと推定される。

2. 対策

本事象の発生原因を踏まえ、以下のとおり再発防止策を実施する。

- ・計装弁取扱時の点検作業札の適用及びダブルチェックによる確認を徹底する。
- ・計器取替時は、原則としてラック入口弁を「閉」とする。
- ・計装ラックなどの計装弁において、識別がされていない弁については識別管理できるように色を塗る。

*) 残留熱除去系差圧検出器

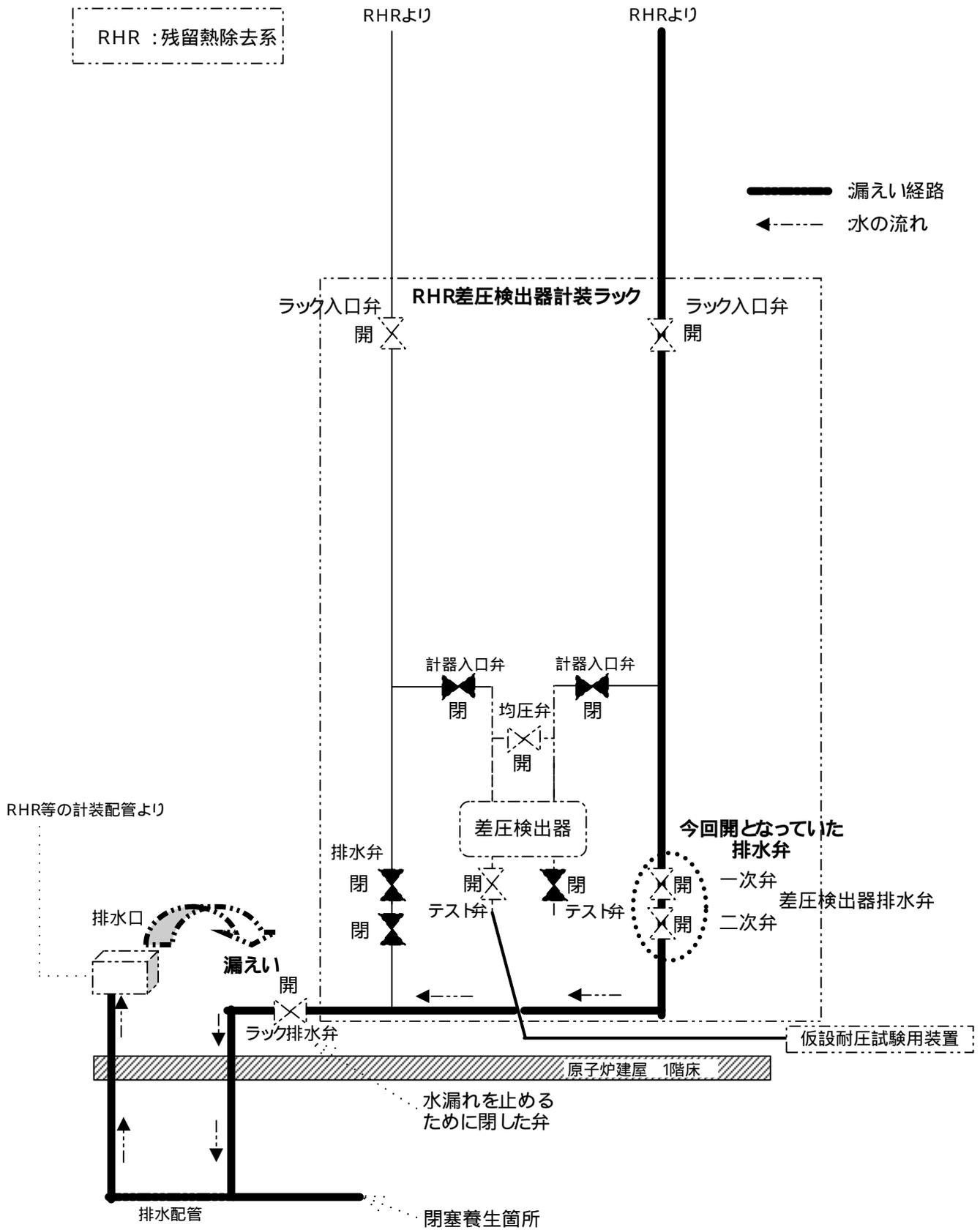
原子炉を停止した後の燃料の崩壊熱除去や非常時に原子炉の水位を維持するための系統において、2つの異なる測定点の圧力差を換算し流量を計測している計器。

（INESによる暫定評価）

基準 1	基準 2	基準 3	評価レベル
-	-	0 -	0 -

【お問合せ先】

原子力安全・保安院
原子力防災課原子力事故故障対策室 大村、千葉
電話：03-3501-1511(内4911)
03-3501-1637(直通)



残留熱除去系計装ラック排水口からの水漏れ経路概念図